

地域名	作物名	作 型 その他	品 種 名	栽植 様式	作 型 模 式 図												目標 収量 (kg)	要素	基肥	追肥(kg) (回)		要素 合計	備考	
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				1	2			
高冷 (標高 700m 以上)	水稻	稚苗機械 植 中苗機械 植	ユメコガネ	cm cm 30×14													480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6～7 10 8	2～3 — 2～3	— — —	8～10 10 10～11	・たい肥を前年秋から早春にかけて 1t施用する。移植前1カ月以内に 施用した場合、基肥窒素を1～ 2kg減肥する。 ・標高800m以上は中苗植とする ・ユメコガネは標高800m以上、ふゆ げしきは700～850mの地帯に適す る。	
			ふゆげしき						○	×		①							N P ₂ O ₅ K ₂ O	6～7 10 8	1.5 — 2～3	— — —		7.5～8.5 10 10～11
			タツミモチ																N P ₂ O ₅ K ₂ O	4～5 10 8	— — —	— — —		4～5 10 8
山間 (標高 400～ 700m)		稚苗機械 植中苗機 械植	コシヒカリ	cm cm 30×14													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4～5 9 7	1 — 1	0.5～1 — 0.5～1	5.5～7 9 8.5～9	・たい肥を前年秋から早春にかけて 1 t施用する。移植前1 カ月以内 に施用した場合、基肥窒素を1～ 2 kg減肥する。 ・コシヒカリは標高500m以下、峰ひ びきは300～700m、ひとめぼれは 200～600m、ヒメノモチは250～70 0mの地帯に適する。	
			峰ひびき	cm cm 30×14													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 9 7	2～3 — 2～3	— — —	7～9 9 9～10		
			ひとめぼれ	cm cm 30×14													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 9 7	2 — 2	— — —	7～8 9 9		
			ヒメノモチ	cm cm 30×14													450	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4～5 9 7	1.5～2 — 1.5～2	— — —	5.5～7 9 8.5～9		
中間 (標高 200～ 400m)		稚苗機械 植中苗機 械植	コシヒカリ	cm cm 30×15														480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3～4 9 7	1 — 1	0.5～1 — 0.5～1	4.5～6 9 8.5～9	・たい肥を前年秋から早春にかけて 1 t施用する。移植前1 カ月以内 に施用した場合、基肥窒素を1～ 2 kg減肥する。 ・コシヒカリは標高400m以下、峰ひ びきは300～400m、ひとめぼれは 200～400m、ヒメノモチは250～40 0mの地帯に適する。 ・群馬糯5号は標高350m以下の地帯 に適する。
			峰ひびき	cm cm 30×15													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 9 7	2～3 — 2～3	— — —	7～9 9 9～10		
			ひとめぼれ	cm cm 30×15													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 8 7	2 — 2	— — —	7～8 8 9		
			群馬糯5号	cm cm 30×15													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 8 7	2 — 2	— — —	7～8 8 9		
			ヒメノモチ	cm cm 30×15													450	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4～5 9 7	2 — 2	— — —	6～7 9 9		
平坦 (標高 200m 以下)		中苗機械 植 普通期	ゴロピカリ 朝の光 あさひの夢	cm cm 30×15														500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 8 7	2～3 — 2～3	— — —	7～9 8 9～10	・たい肥を前年秋から早春にかけて 1 t施用する。移植前1 カ月以内 に施用した場合、基肥窒素を1～ 2 kg減肥する。
			月の光	cm cm 30×15													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6～7 8 7	2～3 — 2～3	— — —	8～10 8 9～10		

地域名	作物名	作 型 その他	品 種 名	栽植 様式	作 型 模 式 図												目標 収量 (kg)	要素	基肥	追肥(kg) (回)		要素 合計	備 考
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				1	2		
平坦 (標高 200m)	水稻	中苗機械 植	さわびかり	cm cm 30×15						○	×						480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 8 7	2 — 2	— — —	7～8 8 9	・たい肥を前年秋から早春にかけて 1 t施用する。移植前1 カ月以内 に施用した場合、基肥窒素を1～ 2 kg減肥する。 ・直播栽培は緩効肥料を用い追肥回 数を少なくした
		普通期	群馬糯5号	cm cm 30×15						○	×						460	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 8 7	2 — 2	— — —	7～8 8 9	
		乾田直播	朝の光 月の光	30cm条 播 (3～ 4kg播)						○	①	②					500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3～4 10 10	2～3 — 2～3	2～3 — 2～3	7～10 10 14～16	
東部 平坦 100m 以下)		早期 早植	コシヒカリ	cm cm 30×15					○	×	①②						500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	2～4 8 7	1～1.5 — 1～1.5	0.5～1 — 0.5～1	3.5～6.5 8 8.5～9.5	・たい肥を前年秋から早春にかけて 1 t施用する。移植前1 カ月以内 に施用した場合、基肥窒素を1～ 2 kg減肥する。 ・湛水直播はカルパーを種子粉衣し ては種する
								○	×	①②													
		湛水直播	月の光	散播 (3kg播)						○	①	②						500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3～4 10 10	2～3 — 2～3	2～3 — 2～3	
山間～ 中間	陸稲	慣行栽培	トヨハタモチ	60cm条 播 (3kg播)					○	①	②						350	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3～4 8 7	1.5～2 — —	1.5～2 — —	6～8 8 7	・たい肥を前年秋から早春にかけて 1 t施用する。移植前1 カ月以内 に施用した場合、基肥窒素を1～ 2 kg減肥する。 ・早ばつ時に第2回目の追肥はやめ る。 ・トヨハタモチは標高700m以下の平 坦、中山間地帯に適する ・ゆめのはたもちは標高200m以下の 平坦値に適する。 ・ゆめのはたもちは窒素肥料をやり すぎないように注意する。
平坦		慣行栽培	トヨハタモチ	60cm条 播 (3kg播)					○	①	②						350	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3～4 8 7	1.5～2 — —	1.5～2 — —	6～8 8 7	
			ゆめのはたも ち	60cm条 播 (3kg播)					○	①	②						350	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3～4 8 7	1.5～2 — —	1.5～2 — —	6～8 8 7	
		畑灌栽培	トヨハタモチ	60cm条 播 (3kg播)					○	①	②						400	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4～5 10 9	1.5～2 — —	1.5～2 — —	7～9 10 9	
			ゆめのはたも ち	60cm条 播 (3kg播)					○	①	②						400	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4～5 8 7	1.5～2 — —	1.5～2 — —	7～9 8 7	
高冷 ～ 山間	小麦	慣行栽培	シラネコムギ	60cm条 播 (8kg播)			①							○			460	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6～7 12 10	2 — —	— — —	8～9 12 10	・たい肥を播種前に10 a 当たり1～ 1.5 t 施用した場合、基肥窒素を 1～2 kg減肥する。 ・追肥は生育状況に応じ茎立期前 に行う。 ・シラネコムギは標高350m以上の地 帯に適する。
中間		ドリル播	農林61号	20～30 cm条播 (10kg 播)			①							○			480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6～7 12 10	2 — —	— — —	8～9 12 10	
平坦			農林61号	20～30 cm条播 (10kg 播)			①								○			500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6～7 13 11	2 — —	— — —	

地域名	作物名	作 型 その他	品 種 名	栽植 様式	作 型 模 式 図												目標 収量 (kg)	要素	基肥	追肥(kg) (回)		要素 合計	備考
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				1	2		
平坦	小麦	ドリル播	つるびかり きぬの波	20～30 cm条播 (10kg 播)			①										500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	7～8 13 11	2～3 — —	— — —	9～11 13 11	・たい肥を播種前に1～1.5 t 施用した場合、基肥窒素を1～2 kg減肥する。 ・追肥は生育状況に応じ茎立期前に行う。 ・ダブル8号は畑地及び黒ボク土水田に作付けることとし、2回目の追肥は生育をみておこなう。前作に留意し施肥量を加減する。
																	500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6～7 13 11	2～4 — —	2～4 — —	10～15 13 11	
			ダブル8号	20～30 cm条播 (10kg 播)			①		②							500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6～7 13 11	2～4 — —	2～4 — —	10～15 13 11		
																500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6～7 13 11	2 — —	— — —	8～9 13 11		
		散 播	農林61号	散播 (12～15 kg播)			①									500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6～7 13 11	2 — —	— — —	8～9 13 11		
																500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	7～8 13 11	2～3 — —	— — —	9～11 13 11		
			つるびかり きぬの波	散 播 (12～15 kg播)			①									500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	7～8 13 11	2～3 — —	— — —	9～11 13 11		
																500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	7～8 13 11	2～3 — —	— — —	9～11 13 11		
	ビール 大麦	慣行栽培		きぬか二条 なす二条 あまぎ二条 ミカモゴールド デン	60cm条 播 (8kg播)												450 ～ 480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 9 9	— — —	— — —	5～6 9 9	・たい肥を播種前に1～1.5 t 施用した場合、基肥窒素を1～2 kg減肥する。 ・追肥は原則として行わない。 ・あまぎ二条、ミカモゴールドは窒素の少ない方をとる ・縞葉枯病発生地帯は抵抗性品種を作付する
																		450 ～ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～7 13 11	— — —	— — —	
		ドリル播	20～30c m条播 (10kg 播)													450 ～ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～7 13 11	— — —	— — —	5～7 13 11		
																	450 ～ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～7 13 11	— — —	— — —	5～7 13 11	
散播	散播 (～ kg播)														450 ～ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～7 13 11	— — —	— — —	5～7 13 11			
															450 ～ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 9 9	2～3 — —	— — —	7～9 9 9			
六条大 麦	慣行栽培	シュンライ すずかぜ 関東皮78号	60cm条 播 (8kg播)			①										450 ～ 480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～6 9 9	2～3 — —	— — —	7～9 9 9	・たい肥を播種前に1～1.5t施用した場合、基肥窒素を1～2 kg減肥する。 ・追肥は生育状況に応じ茎立期前に行う。 ・シュンライは水田の作付に限る。 ・硬質粒の発生を抑制するため、土壌水分が低くなりやすいほ場では追肥を控える。 ・すずかぜ、関東皮78号は畑地での作付とする。	
																450 ～ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～7 13 11	2～3 — —	— — —	7～10 13 11		
	ドリル播		20～30c m条播 (10kg 播)			①									450 ～ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～7 13 11	2～3 — —	— — —	7～10 13 11			
																450 ～ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～7 13 11	2～3 — —	— — —	7～10 13 11		
散播	散播 (13～15 kg播)				①										450 ～ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5～7 13 11	2～3 — —	— — —	7～10 13 11			
															450 ～ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	2～ 4 8～10 8～10	— — —	— — —	2～ 4 8～10 8～10			
高冷 ～ 山間	大豆	普通 (単作)	オオツル ハタユタカ 玉大黒	畦間60 ～70cm 播種量8 千～12 千本/10 a						○							300	N P ₂ O ₅ K ₂ O	2～ 4 8～10 8～10	— — —	— — —	2～ 4 8～10 8～10	・たい肥を播種1カ月以上前に1～1.5t施用する。播種前の未熟堆肥の施用はタネバエの発生を助長するので避ける。 ・オオツルは倒伏しやすいため本数は10%程少なくする ・タチナガハは多い方とする ・玉大黒は標高200m以上の中間地帯とする。
中間		普通 (単作)	オオツル タチナガハ ハタユタカ 玉大黒								○	①					300	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3～ 5 8～10 8～10	4～5 — —	— — —	7～10 8～10 8～10	

地域名	作物名	作 型 その他	品 種 名	栽植 様式	作 型 模 式 図												目標 収量 (kg)	要素	基肥	追肥(kg) (回)		要素 合計	備考
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				1	2		
平坦	大豆	晩播 (麦後)	タチナガハ ハタユタカ	畦間60 ～70cm 播種量 10千～ 15千本 /10 a						○	①						300	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3～5 8～10 8～10	4～5 — —	— — —	7～10 8～10 8～10	・たい肥を播種 1 カ月以上前に1～ 1.5t施用する。播種前の未熟堆肥 の施用はタネバエの発生を助長す るので避ける。
全地域	小豆	夏小豆 秋小豆	大納言 早生大粒 中納言 小納言 金時	cm cm 60×20					○								150	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3～4 8～10 8～10	— — —	— — —	3～4 8～10 8～10	・夏小豆は播種期の早い方をとる
全地域	ハトム ギ	直播	岡山系 中里系	60～70c m条播					○	①	②						300	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4 7 7	4 1.5～2 1.5～2	4 1.5～2 1.5～2	12 10～11 10～11	・たい肥を前年秋から早春にかけて 1t施用する。
		晩植 麦あと移 植栽培	岡山系 中里系	60+30× 18cm					○×	①	②						300	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4 8 8	4 1.5～2 1.5～2	4 1.5～2 1.5～2	12 11～12 11～12	・たい肥1.5～2tを麦播時に施用す る
高冷地	ソバ	夏まき (秋そば)	在来種 信州一号	30～60 cm条播 (4～5kg)							○						100	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3～4 5～6 5～6	— — —	— — —	3～4 5～6 5～6	・たい肥を前年秋から早春にかけて 1t施用する。 ・水田転作は排水対策を講じる。
中間 平坦		夏まき (秋そば)	信濃一号 在来種 常磐秋そば 信州大そば	30～60 cm条播 (4～5kg)							○						100	N P ₂ O ₅ K ₂ O	2～3 4～5 4～5	— — —	— — —	2～3 4～5 4～5	